

平成29年度 学校関係者評価

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:全く思わない F:わからない

評価項目	評価
【教育方針】	A
学校がどのような学校を作ろうとしているか理解している。	
学校は「特色ある教育活動」(理科・生活科教育、縦割班、親子DEシリーズ等)を積極的に推進している。 学校で行われる学校行事に満足している。	
【児童の様子】	B
子供たちは、楽しく学校に通っている。	
子供たちは、授業中落ち着いた態度で学習に取り組んでいる。 子供たちは、基本的な生活習慣や学習習慣が身についている。	
【学 習】	B
学習内容が身につく授業が行われている。	
授業の工夫や補習など、学力向上に努めている。 子供の良さを認め、より力を伸ばす指導が行われている。	
礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいる。	
【生 活】	A
健康・安全に対する生活指導が適切に行われている。	
震災や火災に備えての訓練を実践的に行っている。 校舎内外の清掃や施設整理などが適切に行われ、学習環境の整備に取り組んでいる。	
【ご家庭へのアンケート】	B
子供たちは、年間を通してたくさんの本を読んでいる。	
子供たちは、宿題や自主学習に毎日取り組む習慣ができている。 子供たちは、テレビやゲームなどに依存することなく生活できている。	
【地域・保護者との連携、開かれた学校づくり】	A
学校は児童について、保護者の悩みや相談に積極的に応じている。	
学校は保護者や地域の声を聞こうとしている。 学校は世話人会や育成会等地域行事に積極的に関わっている。	
学校の電話や訪問時における対応は適切である。 学校は学校公開や授業参観など、開かれた学校づくりに取り組んでいる。	

＜自由記述＞

- ・グラフの中で、「とても」が多くなっていることが、同じ「よい」でも革新的に成果を上げていることと思います。
- ・方針が理解され、浸透していることが分かります。
- ・親子DEシリーズは、普段体験できないことに参加できたり、親子の会話にもつながり、とても良かったです。
- ・星の観察会は、近隣校ではやっていないと聞きます。うらやましいとのこと。
- ・学校行事に目標をもって生活できるので、ぜひ、音楽会もやってほしいです。
- ・授業中、子供たちは、よく時間内に聞いています。
- ・算数の時間、解答が複数でも、方法が違って、児童が自分でよく考えています。
- ・学習については、家庭でいくら言っても聞かない年頃になり、なかなか難しい。本人のやる気を引き出しにいけるように、家庭でも声をかけていきたいです。
- ・あいさつ運動の一層の強化。毎日毎日登下校時、校門、教室において声かけ、挨拶の実行、教職員全員が一体となって行うことの積み重ねが大事だと思います。
- ・子供たちをどのように伸ばしていくと、心が優しくなるのか、子供たちに自信がつくのか。自分の進む道に自信を持つことが大切だと思います。
- ・生活について、交通事故は発生しているものの、それ以外の部分は適切に実施されていると思います。
- ・災害「いざ」というとき、指示を出せる防災担当教員を養成。
- ・本は想像力が伸びます。すべて学力に向かい、疑問を伸ばす力となると思います。
- ・「開かれた学級づくり」について、校長先生の方針はとてもオープンな姿勢で、地域・保護者との連携を積極的に行おうとしていると思います。